



# 浜松市モビリティサービス推進 コンソーシアム

## 第4回会議



令和3年3月17日



- 1 開会
- 2 共同幹事挨拶
- 3 会員の申込状況
- 4 浜松版MaaS構想
- 5 浜松市内のモビリティ関連のプロジェクトについて
  - (1)春野医療MaaSプロジェクト
  - (2)アイデアソン後の動向
  - (3)共助型の地域交通等の推進
  - (4)自動運転システム実証プロジェクト
  - (5)リノベーションスクール@浜松（企業版）
- 6 来年度の取組
- 7 意見交換
- 8 閉会

## 2 共同幹事挨拶



- 浜松市  
デジタル・スマートシティ推進事業本部長 朝月 雅則
- 遠州鉄道(株)  
取締役 野村 和徳
- スズキ(株)  
次世代モビリティサービス本部 コネクテッド部長 熊瀧 潤也

### 3 会員の申込状況

- 一般会員62団体からの申込（令和3年3月17日時点）。
- 第3回会議（令和2年12月10日）時点の57団体より、一般会員5団体が新規会員に。

No.	法人名
1	株式会社しずおかオンライン
2	大和リース株式会社
3	株式会社マクニカ
4	株式会社みつばコミュニティ
5	株式会社リタエージェント

※50音順

## 4 浜松版MaaS構想

# パブリック・コメントの実施

- 令和3年1月25日～2月24日にかけて、構想案に対するパブリック・コメントを実施。
- 21人・6団体から、43件の意見が寄せられた。現在、意見に対する市の考え方を公表中。

## ■ 意見数

43件（提案 2件、要望 21件、質問 20件）

## ■ 案に対する反映度

案を修正したもの	2件
今後の参考としたもの	15件
既に案に盛り込み済のもの	4件
その他	22件

### 【案の修正内訳】

✓ 用語の説明の修正 2件

## ■ パブリック・コメントの主な意見と市の考え方

主なご意見	市の考え方
<b>【用語の解説に関する意見】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門用語が多く内容が伝わりづらい</li> <li>本文中の用語の付近に解説を記載してほしい</li> </ul>	①用語の直後に（ ）書きで説明を記載、②本文中の用語の付近に説明を記載し、「X. 用語の説明」に掲載する用語を最少限にした。
<b>【自家用車を使った乗り合い促進に関する意見】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>すでに免許返納等で困っている高齢者もいるため優先順位を上げて取り組んでほしいと</li> </ul>	地域交通を維持していく手段の一つとして、自家用車を使った新たな共助型の交通について、今後、春野町をモデル地区として進めていく。
<b>【移動診療の推進に関する意見】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者だけではなく助産師の検診なども視野に入れてほしい</li> </ul>	医療MaaSを進める中で、ご意見の分野における活用も含め、様々なニーズや意見を伺いながら進めていく。
<b>【将来の新たな取組に関するご意見】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在動き始めている取組を連携させ、将来的に活用できるサービスを構築してほしい</li> </ul>	今後の浜松版MaaSの推進に向けて、意見として承る。

# 浜松版MaaS構想（案）

## 背景

- 国は、骨太の方針で、東京一極集中型から「多核連携型」への移行を掲げ、地方都市の活性化に向けた環境整備の推進を位置づけています。移動環境の整備は重要施策の一つであり「日本版MaaSの推進」等の取組が成長戦略に位置づけられています。また国際社会における環境負荷低減の要請への対応も求められています。
- 本市は、人口減少・少子高齢化を背景に、公共交通の維持をはじめとした交通課題に直面しています。生活サービス（買物や医療等）の維持も大きな課題であり、各種サービスとモビリティの連携による持続可能なまちづくりが求められています。
- 本市は「デジタルファースト宣言」のもとデジタル・スマートシティの取組を始動。データ活用等でMaaSの取組との連携が求められています。
- ウイズコロナ/ポストコロナ時代の「ニューノーマル」に対応した新たな環境整備の一つである「デュアルモード社会」の構築も求められています。

## 活かすべき本市の強み

- 多様な暮らし方や楽しみ方を可能にする環境（国土縮図型都市／交通至便）
- 市民・企業のやまゝが精神や共助の心
- ものづくり力（世界的な輸送用機器メーカーや楽器メーカ等の集積／スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市）

## 目指す方向性（基本理念）

### ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”と浜松の暮らしはもっとかがやく

人口減少・少子高齢化で限られた資源（ヒト・モノ・コト）をモビリティで繋ぎ、持続可能な都市を目指します。さらに、ヒトの移動に留まらない価値を創出し、浜松での暮らしをより豊かにし、来訪者にとっての魅力も高めていきます。

#### 必要な視点1：地域ごとの魅力の最大化

都市部から中山間地まで多様な暮らし方・楽しみ方ができる本市の魅力を最大化します。

#### 必要な視点2：ともに支え、ともに創造

人々の移動や地域を“ともに支え”、様々なモビリティサービスを創出することでより豊かな暮らしを“ともに創造”します。

#### 必要な視点3：しなやかに繋がる

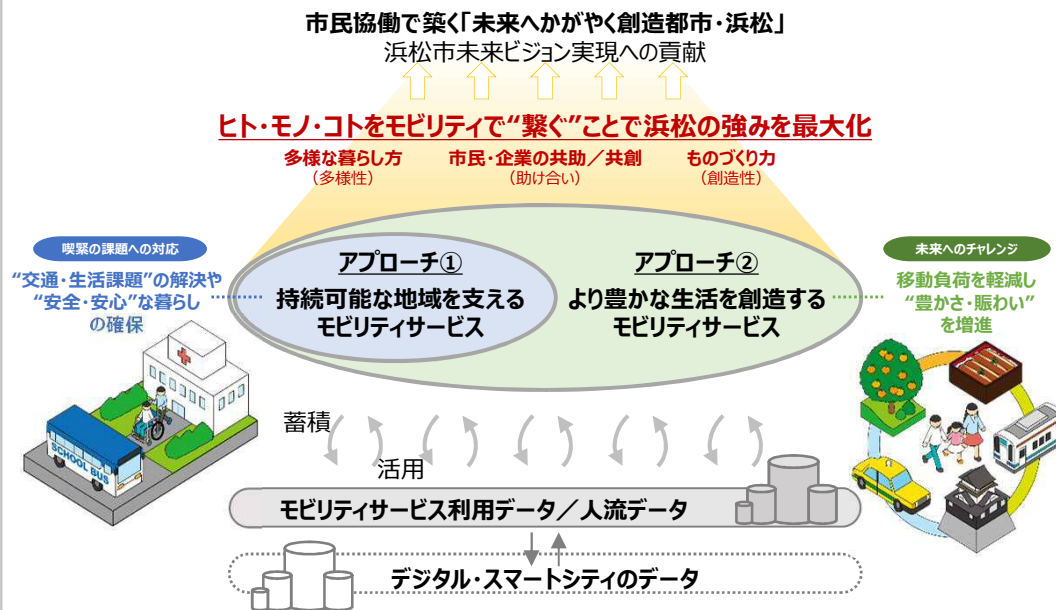
利用者目線のシームレスなサービスや自然災害・パンデミックへの備えなど、しなやかに繋がる地域を構築します

#### 必要な視点4：市民起点でのまちづくり

コンパクトでメリハリの効いたまちづくりとともに、デジタルテクノロジーは手段として捉え、高齢者や子育て世代をはじめ多様な市民の生活ニーズからサービスを発想します。

## MaaS推進の考え方

喫緊の課題への対応（アプローチ①）と、未来へのチャレンジ（アプローチ②）を組合せて取り組みながら多様性・創造性といった浜松市の強みを最大化していきます。



## 推進体制：

市民・企業等の主体的参加で創造性の高いエコシステムを形成していきます。



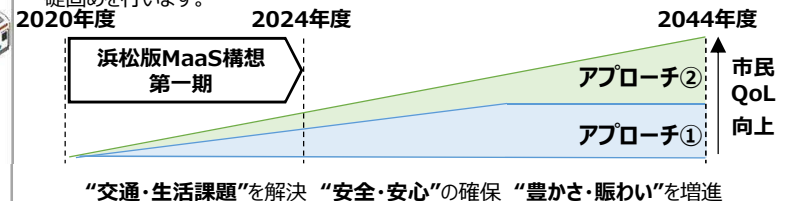
## 中核となる「浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム」

官民が連携し、モビリティサービスを生み出すプロジェクト創出を支援しています。「浜松市デリバリープラットフォーム」や「浜松テレワークパーク構想」など、様々なプロジェクトが立ち上がり、創造性の高いエコシステムを形成しています。



## ロードマップ：

2020年度から2024年度の5年間で第一期と位置づけ、交通・生活課題解決から着手し、モビリティとサービスの連携や官民共創の取組を推進し、浜松版MaaSの基礎固めを行います。





# 浜松版MaaS構想（案）

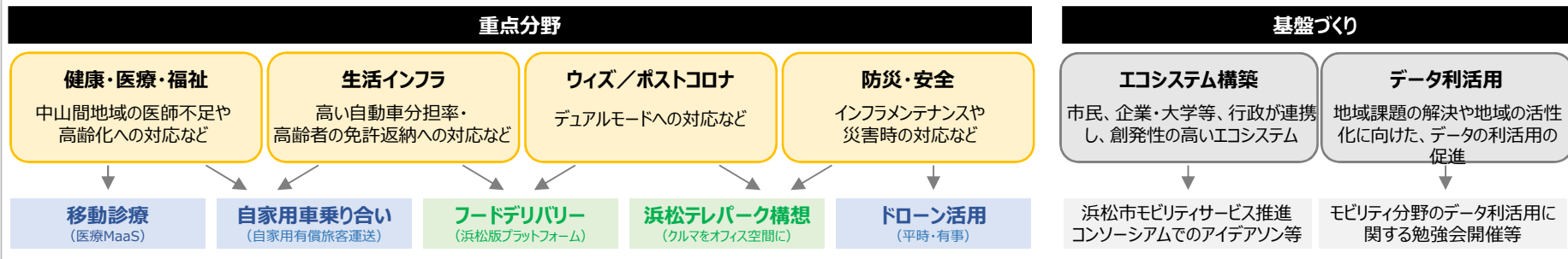
## 考えられるサービスのイメージ

“国土縮図型都市”と呼ばれる本市の多様なフィールドを活用し、市の全域でイノベーションを起こしていきます。



## 第一期（2020年度～2024年度）の取組

重点分野の取組と基盤づくりを推進し、本市が日本版MaaSを先導するエリアとなることを目指します。





# 浜松版MaaS構想（案）

【解説版】



浜松市

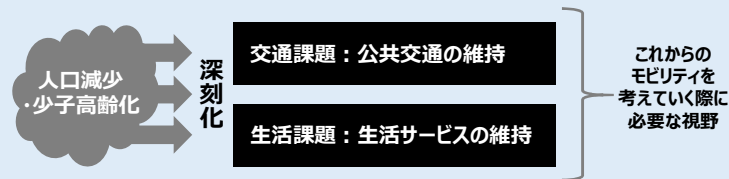


持続可能なまちづくりや生活サービスの維持・質の向上に向けて  
交通領域にとどまらず、市民の生活全般に関わるテーマとして捉えた“新たな発想のMaaS\*”が求められています。

\* MaaS：「Mobility as a Service」の略。複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となる。

## 浜松市の現状と課題

- 人口減少・少子高齢化を背景とし、公共交通の維持をはじめとした交通課題に直面している。生活サービス（買物や医療等）の維持も大きな課題であり、各種サービスとモビリティ（乗り物等、人の移動に関わることやモノ）の連携による持続可能なまちづくりが望まれている。



- 本市は「デジタルファースト宣言（※①）」のもとデジタル・スマートシティ（※②）の取組を始動。分野間連携による市民QoL（生活の質）向上や都市の最適化\*に向けMaaSの取組との連携が求められている。



\*都市の最適化：都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、効果的・効率的な都市計画、都市整備、都市管理・運営を実現すること。

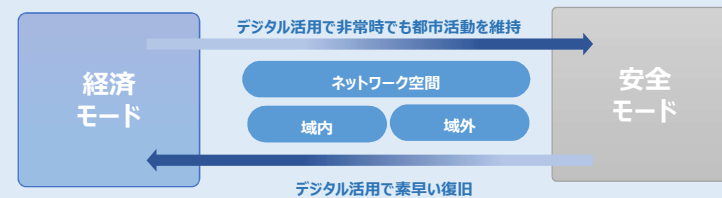
## 関連動向

- 国は、骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針）で、**東京一極集中型から「多核連携型」**への移行を掲げ、地方都市の活性化に向けた環境整備を推進することとしている。そうした中、**移動環境の整備は重要施策の一つ**であり「自家用有償旅客運送（※③）制度の創設」や「日本版MaaSの推進」等の取組が成長戦略に位置付けられている。また、国際社会における環境負荷低減の要請への対応も求められている。

日本版MaaSの推進  
（成長戦略フォローアップ）  
R2.7.17閣議決定

- ① 地域における移動手段の維持・活性化
- ② モビリティと物流・サービスとの融合  
（自家用有償旅客運送の円滑な実施…等）
- ③ 新しいまちづくりとモビリティ
- ④ データ連携の加速

- 「ウィズコロナ/ポストコロナ時代」の「ニューノーマル（新たな常態、常識）」に対応した新たな環境整備の一つである「デュアルモード社会（※④）」の構築も求められている。



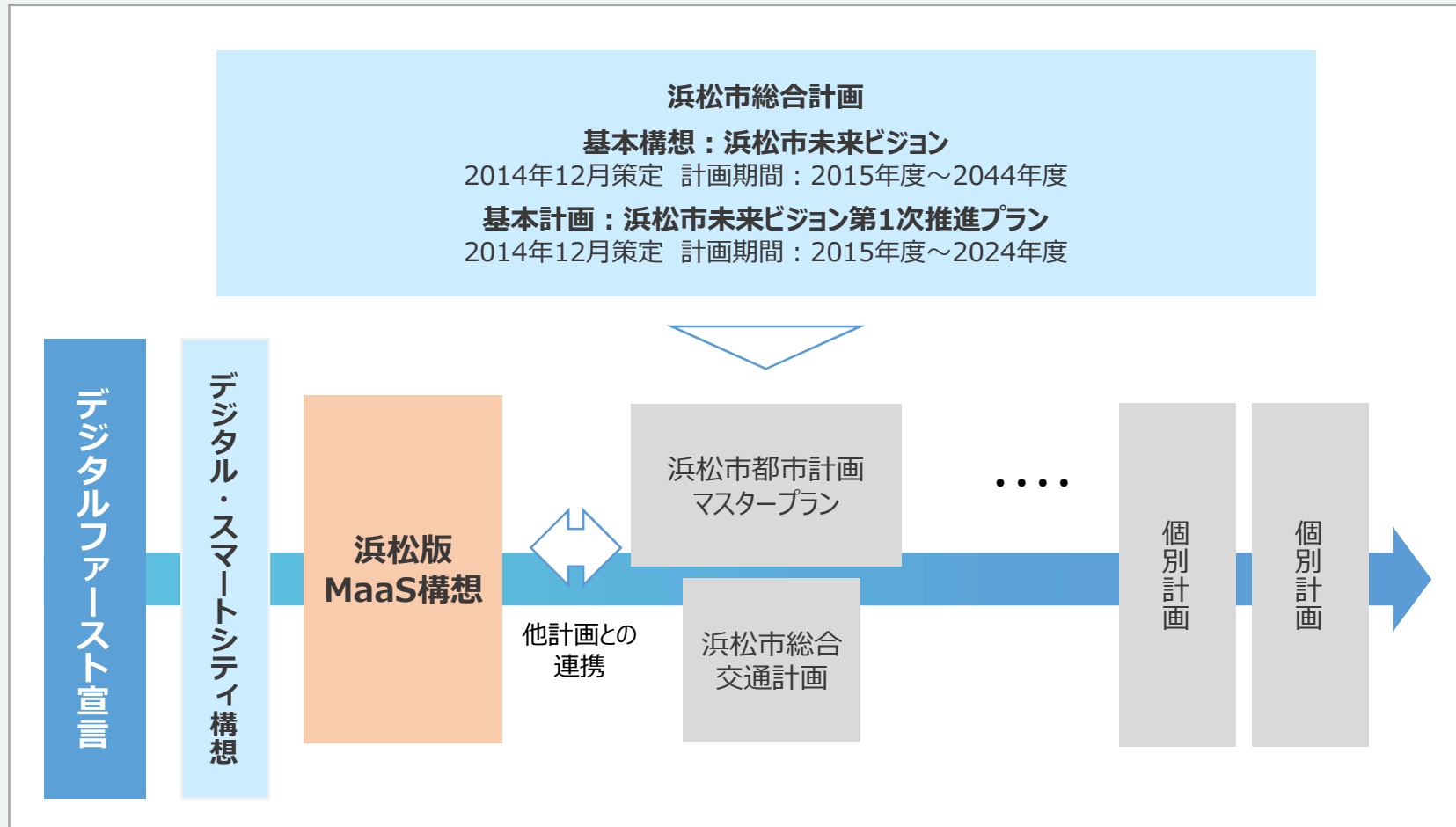
モビリティと各種サービスの連携による持続可能なまちづくりを推進するにあたり、  
その指針として「浜松版MaaS構想」を策定し、市民と共有するとともに  
交通領域にとどまらない様々なプレイヤー\*による共創を促していきます。

\*プレイヤー：サービスを提供または享受する企業、団体、個人など。

## II. 構想策定の趣旨／構想の位置づけ

本構想は、市民、企業・大学等、行政が主体的に参加し、地域課題解決や地域活性化に繋がるサービスを生み出す際の指針となるものです。

本構想は、本市の最上位計画である総合計画に基づく個別計画であるとともに、「浜松市都市計画マスタープラン」「浜松市総合交通計画」「浜松市デジタル・スマートシティ構想」等の他計画と連携しながら、交通課題に限らず多様な都市課題解決の取組の指針となります。



## Ⅲ. 構想に活かすべき本市の強み

構想策定にあたっては、浜松市の特徴や強みを活かす視点を持ち、  
浜松市ならではのMaaSを推進していきます。

### 強み① (多様性)

#### 多様な暮らし方や楽しみ方を可能にする環境

- 都市部・郊外・中山間地域と、様々な暮らし方・楽しみ方ができる多様な環境（国土縮図型都市）
- 新幹線や高速道路等、近隣都市圏とのアクセスが便利な交通環境



### 強み② (助け合い)

#### 市民・企業の“やらまいか精神”や共助の心

- 「やってみよう」「やってみようじゃないか」と、新しいことに果敢にチャレンジする精神、そして浜松を誇りに思い、互いに助け合う心など、オープンなイノベーション\*の土壌

\*イノベーション：これまでにない新しいサービスや製品などを生み出すこと



### 強み③ (創造性)

#### ものづくり力

- 世界的な輸送用機器メーカーや楽器メーカーが集積しており、また同時にスタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市（※5）でもある大企業とスタートアップ\*の共創・創発が生まれやすい環境

\*スタートアップ：短期間で、イノベーションや新たなビジネスモデルの構築、新たな市場の開拓を目指す動きや企業のこと



## IV. 構想の目指す方向性（基本理念）

浜松市のヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”ことによって、持続可能でより豊かな都市の実現を目指します。

### 【基本理念】

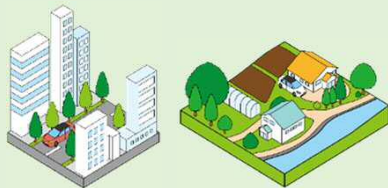
## ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”と浜松の暮らしはもっと輝く

人口減少・少子高齢化で限られた資源（ヒト・モノ・コト）をモビリティで繋ぎ、持続可能な都市を目指します。

さらに、ヒトの移動にとどまらない価値を創出し、  
浜松での暮らしをより豊かにし、来訪者にとっての魅力も高めていきます。

### 必要な視点1 地域ごとの魅力の最大化

- 都市部から中山間地まで多様な暮らし方・楽しみ方ができる本市の魅力を最大化します。



例えば…

- ◆ 豊かな文化を享受する都市の暮らし
- ◆ 自然に囲まれた暮らし
- ◆ 東京や大阪等の大都市との二拠点生活

### 必要な視点2 ともに支え、ともに創造

- 人々の移動や地域を“ともに支え”、様々なモビリティサービスを創出することでより豊かな暮らしを“ともに創造”します。



例えば…

- ◆ 自家用有償旅客など、公共交通事業者だけに依存しすぎない市民も参加しての移動環境づくり
- ◆ アイデアソン等、みんなで考える機会の創出

### 必要な視点3 しなやかに繋がる

- 利用者目線のシームレス\*なサービスや自然災害・パンデミック（世界的大流行）への備えなど、しなやかに繋がる地域を構築します。



例えば…

- ◆ ヒトだけでなく、モノ・コトの移動も含み最適化
- ◆ 様々な状況に応じて、ヒト、モノ、コトの移動が柔軟に繋がるサービスの設計

### 必要な視点4 市民起点でのまちづくり

- コンパクトでメリハリの効いたまちづくりとともに、デジタルテクノロジー（情報技術）は手段として捉え、高齢者や子育て世代をはじめ多様な市民の生活ニーズからサービスを発想します。



例えば…

- ◆ 技術ありきではなく、市民の生活ニーズから発想（デジタルテクノロジーはあくまで手段）
- ◆ アイデアソン等、みんなで考える機会の創出(再掲)

\* シームレス：機能やサービスがよく連携して利用者にとって快適であるということ。

# V. MaaS推進の考え方

『喫緊の課題への対応（アプローチ①）』と『未来へのチャレンジ（アプローチ②）』を組合せて取り組みながら  
多様性・創造性といった浜松市の強みを最大化していきます。



市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」  
浜松市未来ビジョン実現への貢献



## ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”ことで浜松の強みを最大化

多様な暮らし方  
(多様性)

市民・企業の共助／共創  
(助け合い)

ものづくり力  
(創造性)

喫緊の課題への対応

“交通・生活課題”  
の解決や  
“安全・安心”な  
暮らしの確保

アプローチ①

持続可能な地域を支える  
モビリティサービス

アプローチ②

より豊かな生活を創造する  
モビリティサービス

未来へのチャレンジ

移動負荷  
を軽減し  
“豊かさ・賑わい”  
を増進

蓄積

活用

モビリティサービス利用データ／人流データ\*

\* 人流データ：いつ、どこに、どれくらい人がいるかを示すデータ

デジタル・スマートシティのデータ

デジタル・スマートシ  
ティの取組と連携し、  
利活用推進



# VI. モビリティサービス（取り組み例：まとめ）

喫緊の課題への対応

“交通・生活課題”の解決や、  
“安全・安心”な暮らしの確保

未来へのチャレンジ

移動負荷を軽減し  
“豊かさ・賑わい”を増進

アプローチ①  
持続可能な地域を支える  
モビリティサービス

アプローチ②  
より豊かな生活を創造する  
モビリティサービス



# VI-1-1. 持続可能な地域を支えるモビリティサービス（取り組み例）

**アプローチ①**  
持続可能な地域を支える  
モビリティサービス

**アプローチ②**  
より豊かな生活を創造する  
モビリティサービス

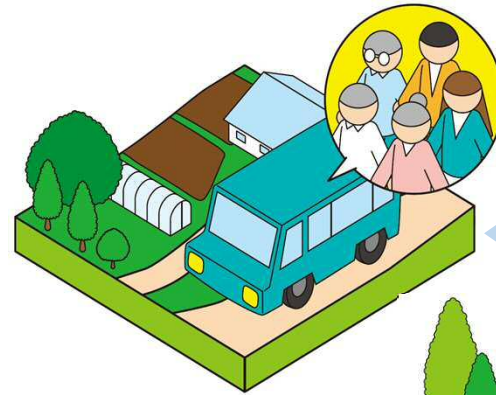
“交通・生活課題”の解決や、“安全・安心”な暮らしの確保



## 移動診療の推進 (医療MaaS)

☞ P16で詳述

車を活用した遠隔診療や  
遠隔服薬指導、薬剤配送の  
推進



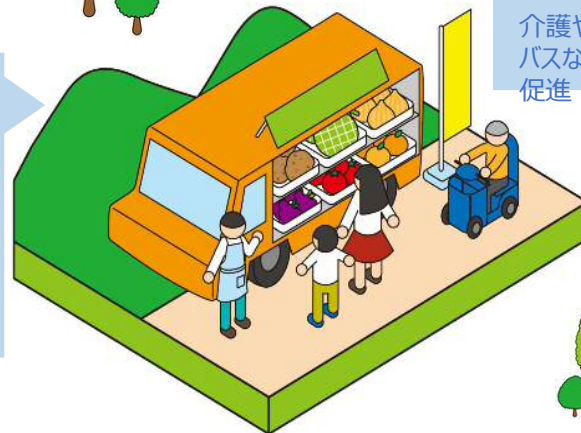
## 自家用車を使った 乗り合いの促進

(自家用有償旅客運送等)

公共交通の維持が困難な地域  
を中心に、住民が自家用車を用いて、有償運送する共助型  
のサービスの導入を促進

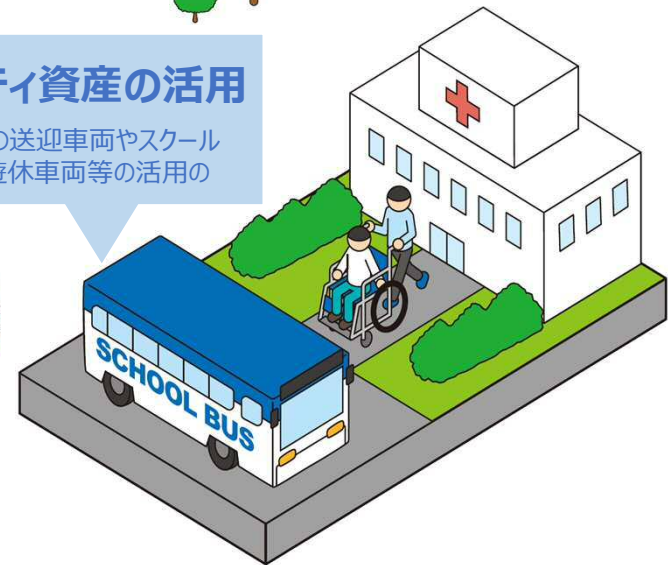
## 移動販売や配送の 地域内連携

買物難民や宅配業の人手不  
足等への対応として、支えあい  
による小売や物流の促進



## 遊休モビリティ資産の活用

介護や福祉施設の送迎車両やスクール  
バスなど、昼間の遊休車両等の活用の  
促進



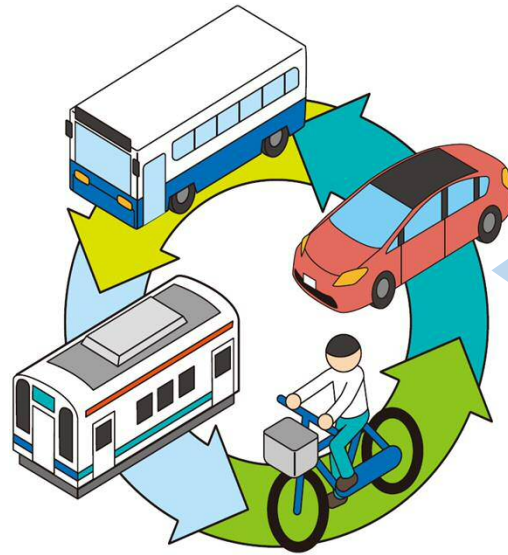


## VI-1-2. 持続可能な地域を支えるモビリティサービス（取り組み例）

**アプローチ①**  
 持続可能な地域を支える  
 モビリティサービス

**アプローチ②**  
 より豊かな生活を創造する  
 モビリティサービス

“交通・生活課題”の解決や、“安全・安心”な暮らしの確保



### 異なる交通手段の連携や 一体的運用・運営

異なる交通手段の連携やデマンド型\*の運行等を活用し、移動の効率化を促進

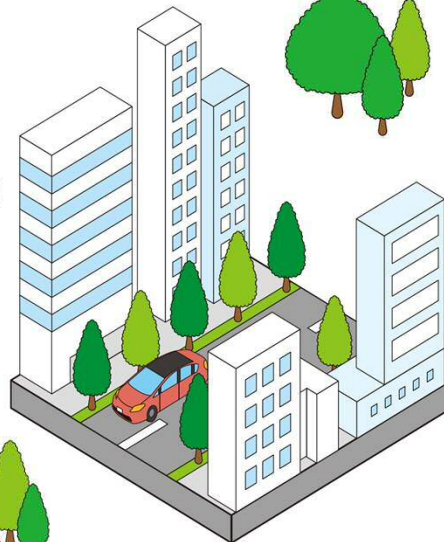
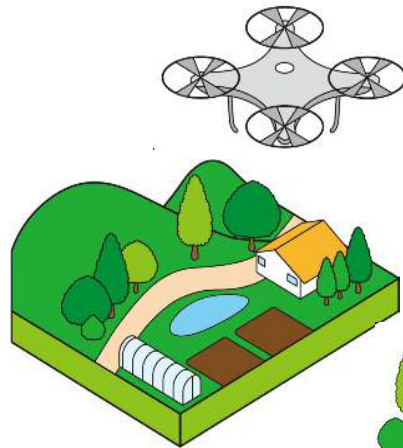
\*デマンド型：利用者の事前予約に応じる形で運行経路や運航スケジュールをそれに合わせて運行する公共交通のこと

### 移動や人流データの 活用・見える化

（公共交通の効率化、アプリ\*活用など）

MaaSサービスの利用データや、ビーコン\*等で収集された人流データ等を活用し、運行の最適化や新たなサービスの創出を促進

\*アプリ：「アプリケーション」の略。パソコンや携帯電話上で使える様々なソフトウェアのこと  
 \*ビーコン：近距離でデジタル機器のデータ通信をやり取りする無線通信技術「Bluetooth」等を使って、情報を発信する端末や通信方法。



### デュアルモード社会づくりへの貢献

自然災害やパンデミック発生など、移動が制限される際のドローン等の活用の検討

# VI-2-1. より豊かな生活を創造するモビリティサービス（取り組み例）

## アプローチ①

持続可能な地域を支える  
モビリティサービス

## アプローチ②

より豊かな生活を創造する  
モビリティサービス

## 移動負荷を軽減し“豊かさ・賑わい”を増進

### フードデリバリー プラットフォーム構築

☞ P16で詳述

浜松発の地方版、フードデリバリープラットフォームを官民連携で構築

### 浜松テレワーク\*パーク構想

☞ P17で詳述

クルマをオフィス空間として活用し、駐車場等の空きスペースを利用することで、景観や環境を自由に選べるサービスを官民共創で構築

\*テレワーク：情報通信技術（ICT＝Information and Communication Technology）を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方のこと

### 自動運転車の活用

中山間地域をはじめ、公共交通の維持が難しい地域での活用を検討

### 観光資源との連携

モビリティで観光資源を繋いだり、観光施設やアクティビティ\*とセットにしたチケットの販売等で浜松の魅力最大化

\*アクティビティ：旅行先での体を使った様々な遊びのこと





# VI-2-2. より豊かな生活を創造するモビリティサービス（取り組み例）

### アプローチ①

持続可能な地域を支える  
モビリティサービス

### アプローチ②

より豊かな生活を創造する  
モビリティサービス

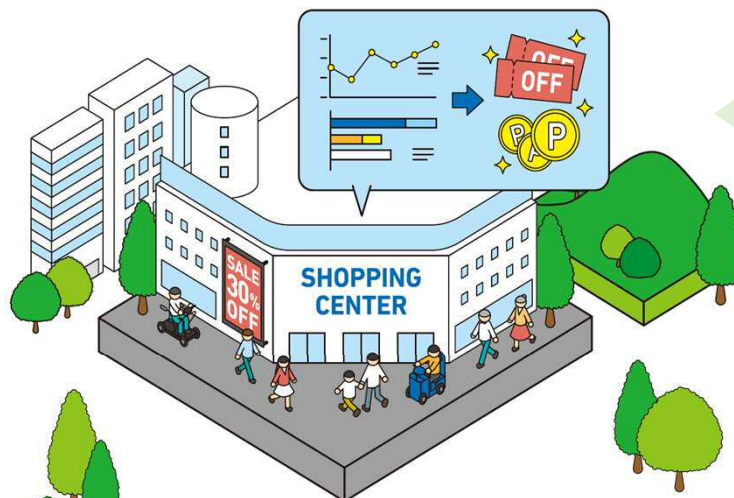
## 移動負荷を軽減し“豊かさ・賑わい”を増進

- \* **多拠点居住**：都市部や地方部に複数の拠点を持ち、定期的に地方部でのんびり過ごしたり、仕事をしたりする新しいライフスタイルの1つ。
- \* **サブスク**：「サブスクリプションサービス」の略。一定期間の利用権を定額性で支払う方式のサービス。
- \* **関係人口**：特定の地域と多様に関わる人々を指す言葉。

### 多拠点居住\*用 サブスク\*MaaS

（関係人口\*向けの移動環境）

「多拠点生活者」向けにサブスクで利用できる移動手段の提供など、多拠点居住者誘致に向けた環境整備

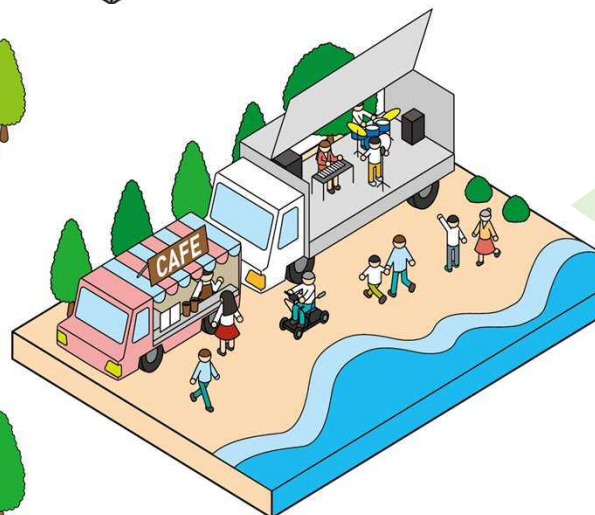


### 商業施設等との連携

クーポンの配信やサイネージ\*へのリコメンド情報\*の表示など、商業施設等との連携により、まちを活性化

\* **サイネージ**：表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタ等によって映像や文字情報を表示するモノ

\* **リコメンド情報**：プロフィールや行動履歴から興味・関心がありそうなモノ・コトを予測した情報

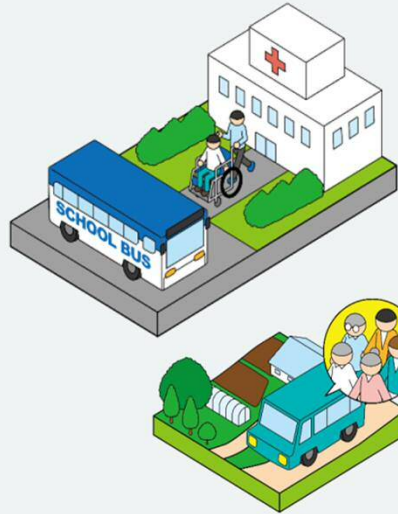


### イベント等との連携

食、音楽、演劇等、場所を問わず車で提供可能な様々なエンターテインメントを組み合わせ、浜松の豊かな自然を活用したイベントを提供

## VI-3. データ利活用について

地域の課題解決にデータを活用し、持続可能で豊かな地域を目指す。



### ■ 地域交通の効率化・生活インフラの維持

#### 活用イメージ

- 自家用有償・乗り合いサービス
- バスルートの最適化
- 移動診療・移動販売

#### データ例

- 自動車GPS\*/コネクテッド\*
- モノ・サービス移動ログ\*

\* GPS：地球上の現在位置を、人工衛星からの電波で測り知る装置。

\* コネクテッド：インターネットに常時接続されたモノ。

\* 移動ログ：特定のヒトやモノの移動履歴。

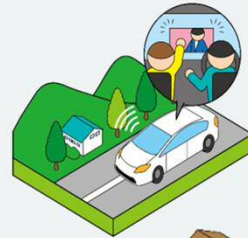
### ■ 渋滞や事故軽減・インフラメンテナンス

#### 活用イメージ

- 渋滞情報の共有や軽減対策
- 交通事故の軽減対策
- 道路等のモニタリング

#### データ例

- 市民GPSログ
- 自動車GPS/コネクテッド
- バス・タクシーGPS/ビーコン
- 公共交通ダイヤ/事故情報
- 車載カメラによる道路情報



### ■ 地域活性化

#### 活用イメージ

- 広告/クーポン配布
- 個々人に最適化された商品提供
- 移動を含む観光パッケージ

#### データ例

- 市民GPSログ
- バス・タクシーGPS/ビーコン
- 観光地・周辺施設情報





# Ⅵ. 推進体制

市民、企業・大学等、行政が役割を持ち、それぞれが主体的に参加する創発性の高いエコシステム（好循環）を形成。  
エコシステムの活動を通じて、地域課題解決・地域活性化に資するサービスやソリューション\*を生み出していきます。

\*ソリューション：抱えている課題を解決することや、そのために提供されるシステム

【役割】

持続可能なまちづくりの主演として市民自らが役割を担い、企業や行政と共に新たな取組を考え、その担い手となっていく。

【役割】

エコシステムに積極的に参加して他社や市民との共創により新たな取組を創出。自社事業として持続的に運営を担う。



## 「浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム」を中核とした、エコシステムの形成

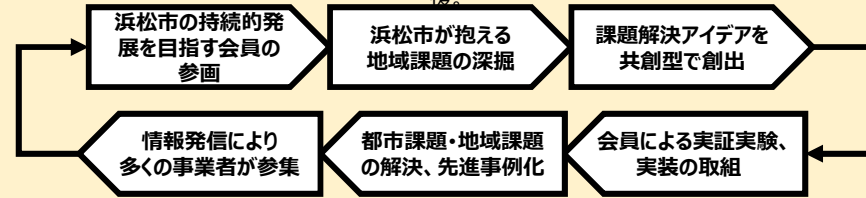


「浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム」は、モビリティサービスの観点から浜松市の持続可能な発展を目指して、令和2年4月に設立。官民が連携し、これからの

浜松市に必要なモビリティサービスを生み出すプロジェクトを支援し、会員同士の意識共有や新たな繋がりを創出しています。「浜松市デリバリープラットフォーム」や「浜松テレワークパーク構想」など、様々なプロジェクトが立ち上がり、創発性の高いエコシステムを形成しています。

## モビリティサービス推進のエコシステム（好循環）

浜松市の新しいモビリティサービスを考えるアイデアソン（P17で詳述）など、会員主導のプロジェクト創出を支援。



市内のプロジェクト例

### 浜松市デリバリープラットフォーム

コロナ禍で影響を受けた飲食店を支援するために、官民が連携して、飲食店・消費者・宅配事業者などをオンラインで結びデリバリープラットフォームを形成。



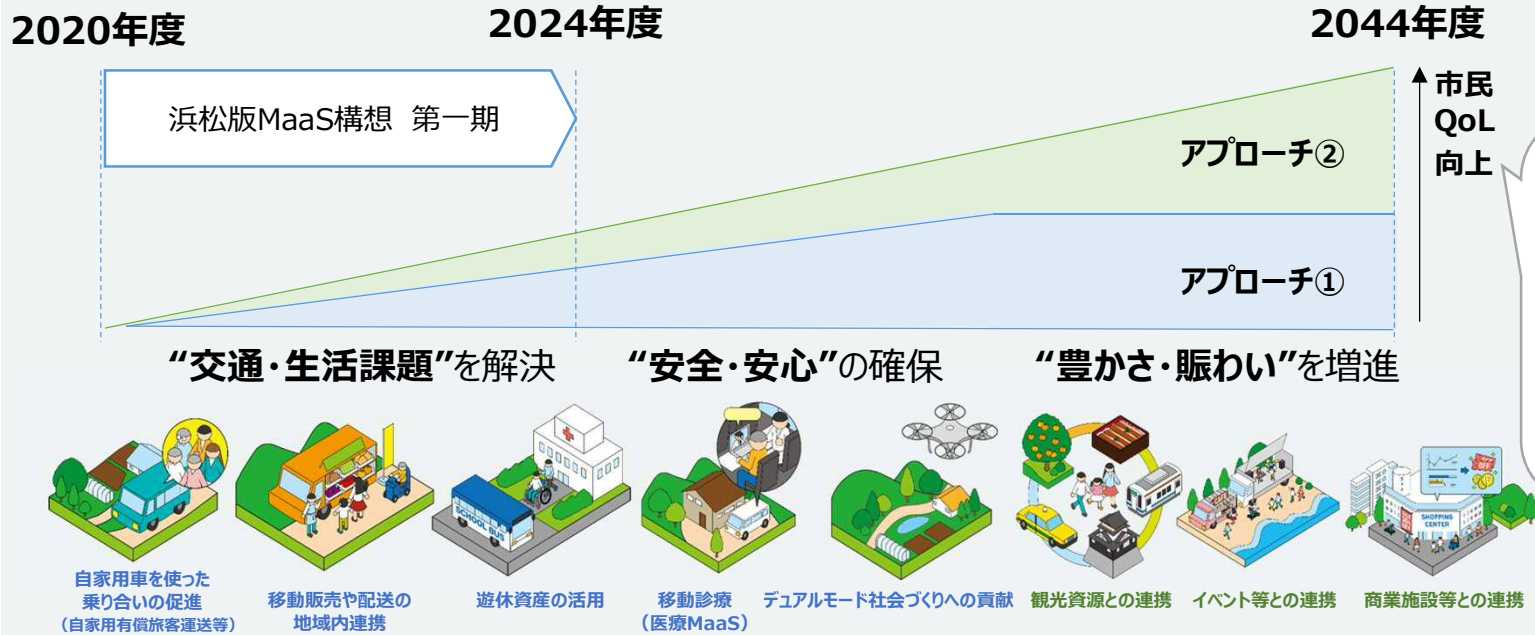
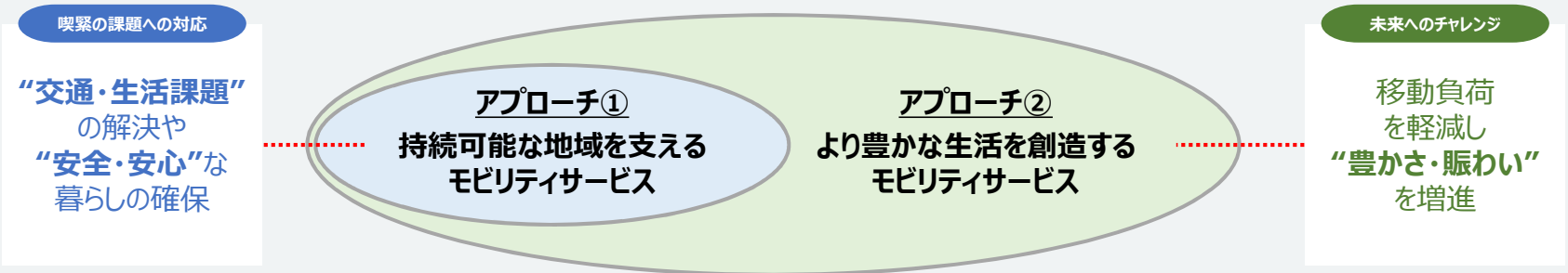
### 浜松テレワークパーク構想

車や駐車場を活用することでより良いテレワーク環境をつくり、浜松市を挙げてテレワークを促進するための官民連携の構想。



# Ⅷ. ロードマップ

2020年度から2024年度の5年間を浜松版MaaS構想の第一期と位置付け、  
交通・生活課題の解決から着手して、モビリティとサービスの連携やデータ利活用へと徐々に拡大。  
中期的に、“安全・安心”の確保や“豊かさ・賑わい”の増進を図り、市民QoL向上、「浜松市未来ビジョン」の実現を目指します。

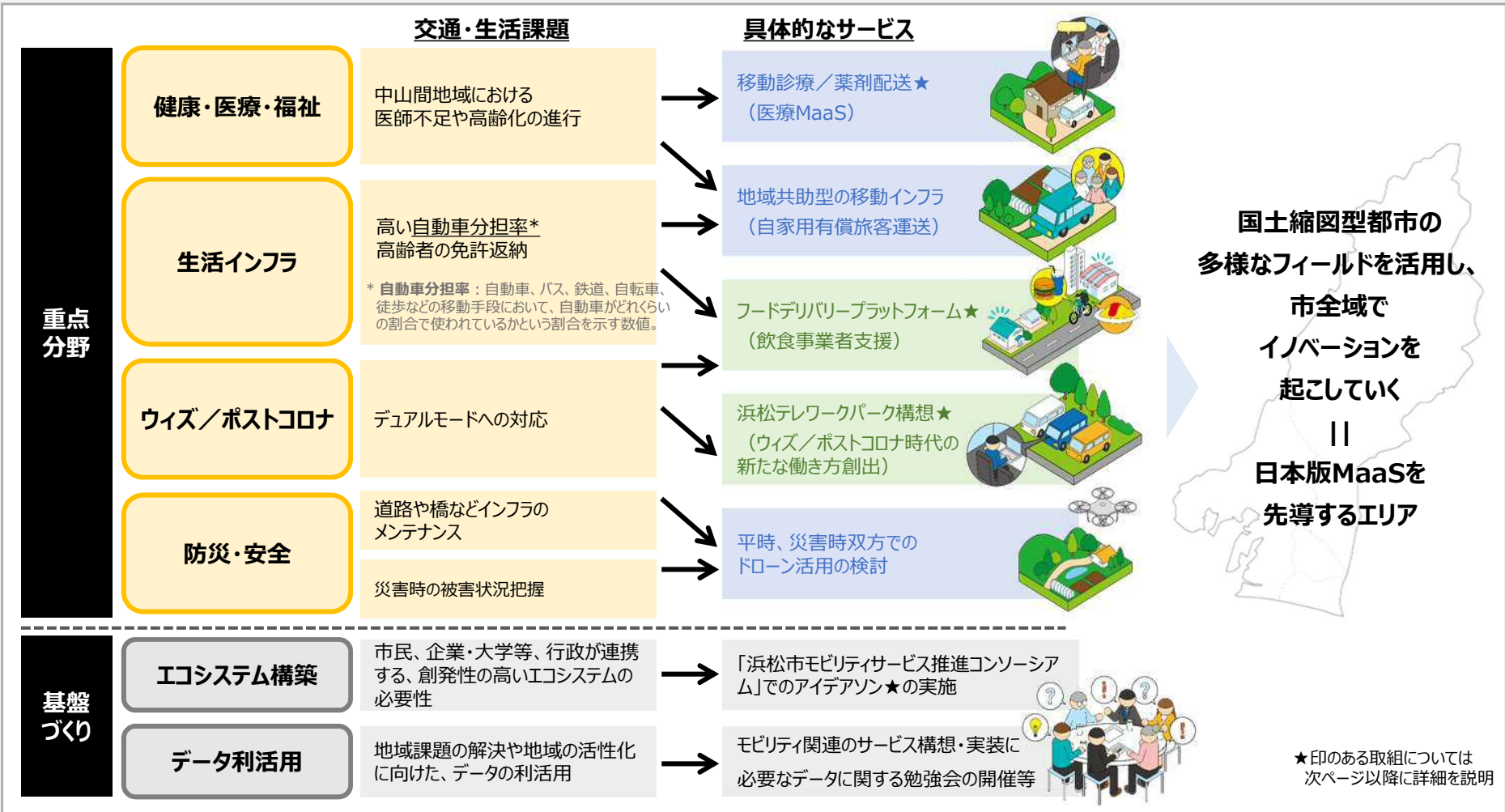


市民協働で築く  
「未来へかがやく創造都市・浜松」  
浜松市未来ビジョン実現への貢献

# IX. 第一期（2020年度～2024年度）の取り組みイメージ



構想第一期は、官民連携による創発性の高いエコシステムづくりや、データ利活用に関する研究等、MaaS構想の基盤づくりに取り組むとともに  
**重点分野として「健康・医療・福祉」「生活インフラ」「ウイズ/ポストコロナ」「防災・安全」を設定し**  
**国土縮図型都市である浜松市の多様なフィールドを活用して、本市全域でイノベーションを推進。**  
 これらの取組を通じて、浜松市が日本版MaaSを先導するエリアとなることを目指します。



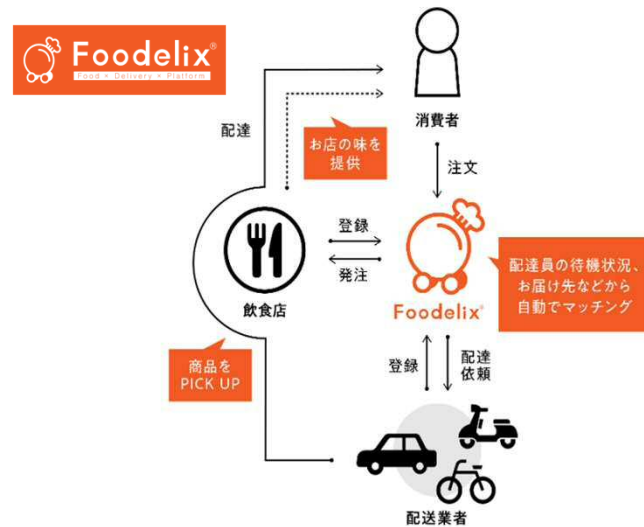
## IX-1. 動き始めている取り組み例

### フードデリバリープラットフォーム

#### 浜松市の地域特性に合わせた新しいデリバリー & テイクアウトプラットフォーム「Foodelix」の構築。

コロナ禍でテイクアウトニーズが増える一方、決済・配送エリアも異なる事業者単位でサービスを行っている為、利用者としては使いづらいという課題と、デリバリーサービスを利用したい事業者のノウハウ不足という課題を解決する為に、注文・決済・配送までの一元的に管理できるデリバリー & テイクアウトプラットフォームを構築。

(株)こころ、(株)日本シャルフ、(株)サンロフト、浜松市 の4者で立ち上げ、2020年10月から運用を開始しています。



(2020年12月現在)

### 春野医療MaaS\*プロジェクト

#### 医療資源の乏しい中山間地域で、「医療を届ける」モデルの構築に向けた実証実験を天竜区春野町で実施。

天竜区は、高齢化が進行し、マイカー依存度が高く、今後、高齢者が免許返納等により自家用車での移動が困難になることが懸念されます。地域交通等の衰退による通院困難、地域の医療課題（医師不足等）により、将来適切な医療サービスの継続が困難になる可能性があるため、中山間地域において通院困難な高齢者に「医療を届ける」モデルの構築を目指す実証実験を実施。

実証実験では、移動診療車を用いたオンライン診療を行い、オンライン診療を受診した患者に対して医師や薬剤師と連携してオンラインでの服薬指導やドローンなどを使った薬剤配送も行います。実験を通じて、それらの運用上の課題を検証していきます。



\* 医療MaaS：モビリティとデジタルの力によって、医師不足や高齢化等従来の医療課題を解決する新しい医療サービス

(2020年12月現在)



## IX-2. 動き始めている取り組み例

### 浜松テレワークパーク構想

**駐車場をコワーキングスペース\*として活用する事で浜松ならではの新たな働き方を提案。**

コロナ禍で企業に求められたテレワークへの取り組みによって起きた「仕事ができる個室の確保」等の課題を解決するために、駐車場をコワーキングスペースとして活用する事で新たな働き方を提案する「浜松テレワークパーク実現委員会」を、We will Accounting Associates(株)、スズキ(株)、(株)東海理化、浜松市の4者で設立。

多拠点居住や関係人口拡大に貢献するサービスとして、2021年4月度以降の事業化を目指し、2020年11月より移動オフィスとコワーキングスペースの実証実験を開始しました。



\* コワーキングスペース：異なる職業や仕事を持った人たちが同じ場集まり、共有している作業場

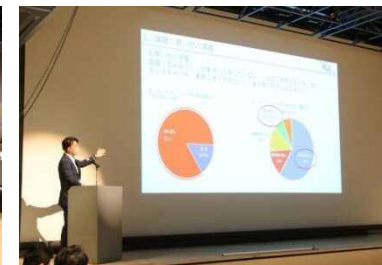
(2020年12月現在)

### アイデアソン\*

**新しいサービスのアイデア創出に向けて、モビリティコンソーシアム参加企業同士での「意識共有」、「関係構築」、「価値創造」を促進する事を目的とした、企業共創型サービス創発プログラムを実施。**

浜松市の課題視点で、それぞれの参加企業がサービスを創造していく事をサポートできる様に、MaaS、スマートシティ最新事例のインプット、浜松市の課題の深堀、共創型のサービスアイデア発想等のプログラムを用意。初年度は10社が発表を行い、浜松市長始め、コンソーシアム幹事企業からの講評など、各アイデアのサービス具体化に向けたサポートに貢献する施策となりました。

今後も本プログラムを定期的に実施していきながら、浜松市民の生活の質を向上させる新しいモビリティサービスアイデア創出とプロジェクト具現化のきっかけの場として推進していく予定です。



\* アイデアソン：「アイデア」と「マラソン」を組み合わせた造語で、アイデアの創出を目的としたイベントを指す

(2020年12月現在)

## X. 用語の説明

※本構想内で使用しているケースでの意味を説明しています。

※1	<b>デジタルファースト宣言</b>	令和元年10月31日に発出。「データ活用や地域課題解決を通じたイノベーションの活性化」「デジタル化による生産性向上」「デジタル技術やデータの活用による市民生活の快適化」を目指すために「都市づくり」「市民サービス」「自治体運営」にデジタルファーストで取り組むことを宣言
※2	<b>デジタル・スマートシティ</b>	「デジタルファースト宣言」の3つの戦略分野の1つである「都市づくり」における政策。データや先端技術を最大限に活かし、産業の活性化やインフラの効率的な維持管理など都市機能の高度化を目指す
※3	<b>自家用有償旅客運送</b>	バス、タクシー等が運行されていない過疎地域などで、登録を受けた市町村、NPO等が自家用車を用いて住民を有償で運送すること
※4	<b>デュアルモード社会</b>	経済効率を重視する「経済モード」と、国民の健康と安全とを最優先にする「安全モード」の2つのモードを新型コロナウイルス感染症の状況に応じて適宜切り替える社会。 (事例) ・飲食 「経済モード」では店内、「安全モード」ではデリバリーで自宅で飲食 ・働き方 「経済モード」では職場に出勤、「安全モード」ではリモートワーク
※5	<b>スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市</b>	内閣府が経済面や技術面など様々な支援を行うことで世界と同等に戦える日本企業の創出を目指し、全国で4地域を選定



## 5 浜松市内のモビリティ関連のプロジェクトについて

---

# (1) 「春野医療MaaSプロジェクト」 実証実験報告

令和3年3月





## 1. 遠隔診療等デジタルを活用し、中山間地域の持続可能な医療を支える 仕組みづくり

このプロジェクトは、どこでも自由にエリアを越えて遠隔診療を受けることができるという利便性を追求したものではなく、**過疎地における地域医療を補完する仕組み**として、**医療MaaSプロジェクトの有効性や課題を抽出し、今後の社会実装を目指すもの。**

## 2. 浜松版MaaS構想における「持続可能な地域を支えるモビリティサービス」の取組の一環として

浜松市が令和2年度に策定中の「**浜松版MaaS構想**」に位置付けている「**持続可能な地域を支えるモビリティサービス**」の取組の一環として、**モビリティと医療の連携**により、**持続可能な地域づくりの一助とする。**

～医療MaaSプロジェクト実施の背景：中山間地域における課題～

### 高齢化の進展・通院困難



### 地域医療の継続



# 「春野医療MaaS」実証実験の概要

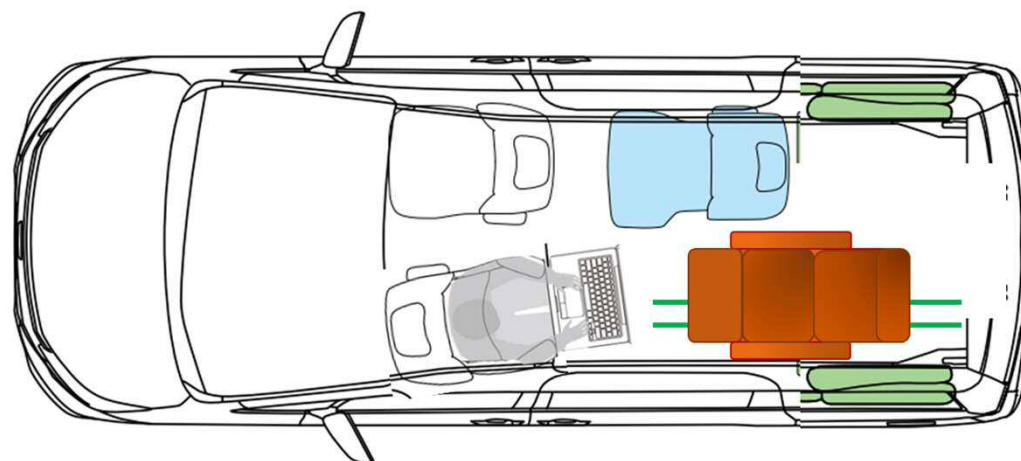
- ＜概要＞ 経産省：スマートモビリティチャレンジ事業＞
- ＜期間＞ 令和2年10月19日～令和3年1月14日
- ＜対象者＞ 診療所の患者から10名、合計18回の実証
- ＜協力者＞ 磐周医師会、小澤医院、浅倉医院、  
MONET Technologies(株)、(株)トラジェクトリー、  
(株)杏林堂薬局

移動診療車内「オンライン診療」		移動診療車内「オンライン服薬指導」	
①患者宅へ移動診療車が出向く ②看護師が同乗し診療の補助を行う		①院内処方 ドローン薬剤配送(3回)	②院外処方 薬剤車両配送(3回)
			

中山間地域における持続的な医療MaaSの検討



# 移動診療車について (MONET Technologies(株)提供)





# ドローン配送（株）トラジェクトリー）による薬剤配送

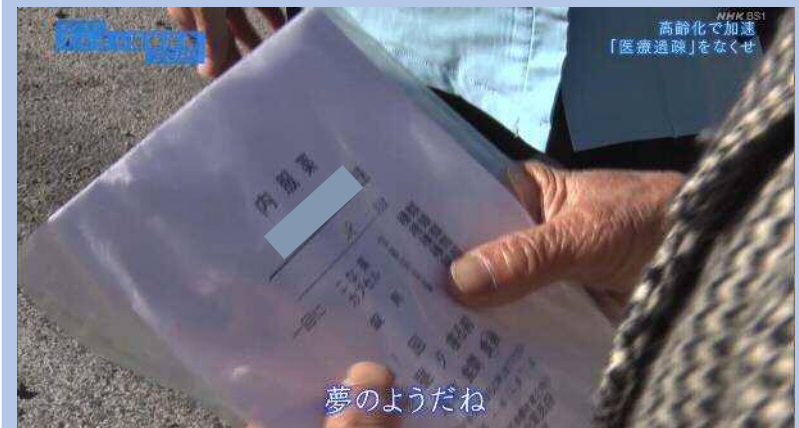
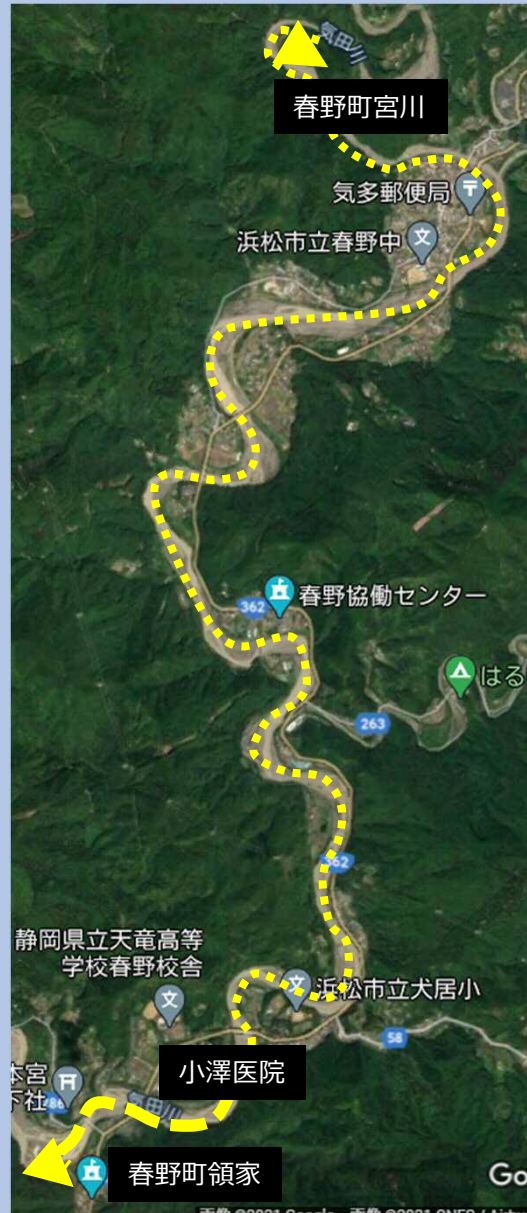
## ドローン飛行ルート



- ドローン飛行ルート①
- ドローン飛行ルート②



DJI製







# 今後に向けての課題等



- 中山間地域の持続可能な医療を**補完する仕組みとしてとして有効性を確認**
- 遠隔診療等デジタルを活用する上での**オンライン診療支援者（看護師）**の介在（D to P with Nモデルの有効性の確認）の有効性を確認
- 地域における医療MaaSプロジェクトの位置づけの**共有や一体的な推進**が課題
- 対面診察の置き換えではなく、“**補完**”するものという視点
- 地域全体としての持続可能な仕組みや体制の必要性と**コスト負担のあり方**
- 実装時（特にドローン）の**事務負担（規制・制度）**の軽減
- 総合的な視点（中山間地域などの地理的特徴）からの移動診療車両の選択







## (2) アイデアソン後の動向

提案事業	提案企業	進捗状況
シニアアクティブワーカーを支えるマッスルスーツ	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	検討中 (進展有)
働きまる見えサービス オフィスワーカー向けMaaSアプリケーション ※テレワーク、ワーケーションに関するサービスについて	SBテクノロジー(株)	検討中 (進展なし)
ネットスーパー商品の勤め先での受け取りサービス	(株)エフ・シー・シー	検討中 (進展なし)
地元民間事業者に向けた横断型SaaS提供および データ統合分析によるより良い観光体験システムの構築	scheme verge(株)	検討中 (進展有)
第三の家族 地域コミュニティと地元企業をつなぐ新しいサービス ※子供の送迎を地域でマッチングするサービスについて	スズキ(株)	検討中 (進展有)
シェアキッチンカーによる屋外レストラン	(株)東海理化	検討終了 (ニーズなし)
高齢者が安心して運転できる街づくり	東京海上日動火災保険(株)	検討中 (進展有)
目的型移動サービスのidea ※通塾・通学向けライドシェアサービスについて	凸版印刷(株)	検討中 (進展なし)
浜松版MaaS構想の実現に向けた高齢者起点の電動モビリティ展開について	(株)博報堂	検討中 (進展有)
浜松市民×浜松市役所×企業が一体となり、モビリティ課題への対応、解決 を目指す「アクションクーポン/ポイントサービス」	(株)日立ソリューションズ	検討中 (進展なし)

# 第三の家族 子育てコミュニティをつなぐ ボット 進捗報告

スズキ(株)

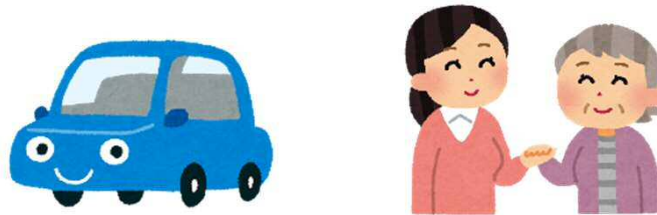
## (3) 共助型の地域交通等の推進



中山間地域における持続可能な地域交通の確立に向け、春野町をモデル地区として、「自家用車を活用した乗り合いの促進」や「異なる交通手段の連携や一体的運用・運営」の推進に向け、地域住民との意見交換を行う。

### (1) 自家用車を活用した乗り合いの促進

地域住民の自家用車を活用した乗り合いの促進



### (2) 異なる交通手段の連携や一体的運用・運営

地域バスやスクールバスなど異なる交通手段の連携や一体的運用・運営など効率的な運行の導入



# 【実証実験サポート事業】

自動運転による  
超小型モビリティの公道走行





リノベーションスクール  
@浜松（企業版）  
取組紹介

スズキ(株)

## 6 来年度の取組

# 来年度の取組

項目		2021年度												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
共通	出前講座	受講申し込みに応じて随時開催												
デジタル・スマートシティ	官民連携PF運営委員会		●第1回運営委員会		●第2回運営委員会		●第3回運営委員会			●第4回運営委員会			●第5回運営委員会	
	官民連携PFピッチ・セミナー	各分野の取組紹介（オンライン） 年12回程度												
	データ連携基盤実証実験	募集		審査		実証実験						成果発表会▲		
	MONTH事業	主催事業検討			冠事業募集			選定		マンス ※時期調整中			●オンラインフォーラム	
	モビリティサービス推進コンソーシアム		●セミナー I ●第1回会議	●アイデアソン① ●第2回会議			●アイデアソン② ●第3回会議		●セミナー II ●第4回会議					●第5回会議
市内連携	★第1回本部会議		★第1回WG		★第2回WG		★第3回WG		★第4回WG		★第2回本部会議		★第5回WG	
デジタル・ガバメント	スマホやICTお出かけ講座	トライアル講座開催			スマホやICTお出かけ講座開催									
	先進技術導入庁内実証実験	募集・審査			実証実験									
	協働センター等Wi-Fi整備	順次▲ 機器配備	広報開始		▶▶▶		運用開始		▶▶▶					
	電子申請推進	実装に向けた検討・調整						住民票オンライン請求実装			横展開準備			他手続実装
デジタル・マーケティング	相談支援	次年度事業相談支援①						次年度事業相談支援②						
	人材育成	★次年度事業相談会			★ワークショップ①		★ワークショップ②		★実務担当者セミナー①		★次年度事業相談会		★実務担当者セミナー② ★実務担当者セミナー③	

## 7 意見交換